



平成 28 年度 Vol.10

防災対策 情報便



年月日	平成 29 年 1 月 31 日
発行	災害対策課
所属長	課長 大石 照男
電話	06-6489-6165

1 避難準備情報等の名称変更について

政府では、平成 28 年 8 月に岩手県岩泉町で発生した台風第 10 号による災害を踏まえ、避難に関する情報提供の改善方策等が検討されてきました。

その結果、平成 28 年 12 月 26 日付けで、「平成 28 年台風第 10 号災害を踏まえた課題と対策の在り方(報告)」が公開され、この報告を踏まえて、全国的に避難準備情報等の名称が次のとおり変更されることとなりました。

今後は、尼崎市でも変更後の名称で避難情報を発表しますので、とるべき避難行動について再度ご確認ください。

変更前	変更後
避難準備情報	避難準備・高齢者等避難開始
避難勧告	避難勧告
避難指示	避難指示(緊急)

※変更なし

2 津波等一時避難場所の追加指定について

平成 29 年 2 月 1 日付けで、次の施設を津波等一時避難場所に追加指定します。

施設名	所在地	収容人数
東部浄化センター管理棟	西松島町 32	860 人
栗山中継ポンプ場	南塚口町 7 丁目 21-11	70 人

※ 今回の施設の追加指定で、合計 350 施設(329,490 人)となります。

3 「1.17 は忘れない」地域防災訓練を実施しました

平成 29 年 1 月 17 日(火曜日)、午後 1 時 20 分から、立花地区の塚口中学校をメイン会場に、中央地区は日新中学校、小田地区は大成中学校、大庄地区は大庄北中学校、武庫地区は常陽中学校、園田地区は小園中学校を地区会場として「1.17 は忘れない」地域防災訓練を実施しました。

この訓練は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、市民一人ひとりが大震災を忘れず、将来の災害への備えの充実を図り、「ひょうご安全の日」である1月17日を中心として1月中の減災月間に地震災害に対する対策を図るため、地域等における自主防災組織、社会福祉協議会などの地域住民と学校が連携した防災訓練を毎年実施しているものです。

訓練想定

平成29年1月17日13時20分、紀伊半島沖の海底を震源とするマグニチュード9.1の海溝型地震が発生した。

このため、本市においては震度6強の地震にみまわれ、大津波警報が発表された。また、地震発生後約117分で津波の第1波が尼崎港へ来襲する見込み。津波高は4mに達する予測であり、市域全体に浸水の恐れがある。

メイン会場の塚口中学校では、この想定の下、次の内容で訓練が実施されました。

- (1) シェイクアウト訓練
- (2) 避難誘導訓練・水平避難（要配慮者避難誘導・避難支援訓練も含む）
- (3) 兵庫県消防防災航空隊による市内状況調査訓練
- (4) 避難誘導訓練・垂直避難（要配慮者避難誘導・避難支援訓練も含む）
- (5) 兵庫県防災士会による防災講座
- (6) 消防局による防災訓練
- (7) 避難所運営訓練

各会場にて、地域の自主防災会を中心に、積極的な訓練のご参加をいただき誠にありがとうございました。



垂直避難の様子



垂直避難の様子



簡易担架搬送訓練の様子



避難所運営訓練の様子



車椅子搬送訓練の様子



支援物資搬入の様子

4 ～次の100年に向けたスタート～ 女性が考える“これからの安心・安全(防災版)”について

市制100周年を迎えた本市では、新年から次の100年に向けた新たなスタートを切ったことから、「1. 17は忘れない“ひょうご安全の日”」を迎えるにあたり、防災の視点からの安心・安全をテーマに、稲村市長と最前線の現場で活躍する各種関係機関などの女性職員等が公開対談を1月13日（金）に行いました。

対談には、本市の健康福祉局、消防局、教育委員会をはじめ、兵庫県尼崎港管理事務所や兵庫県警察本部の関係行政機関、男女共同参画ネットや防災士会のNPO法人からも参加頂き、「自助・共助の重要性」、「家庭での子供への防災教育の大切さ」や「避難所での女性への様々な配慮の必要性」等、市民に伝えたいこと等を女性目線で話し合いました。

また、この対談のなかで「避難所での注意事項の周知」や「相談しやすい環境づくり」には、ポスターの活用が有効であるとの意見を受け、1月17日（火）の「1.17は忘れない」地域防災訓練のメイン会場において実践しました。

今回の対談では、こうした様々な立場からの「具体的な思い」や「情報」を共有できたことから、今後の防災対策に活かしていきます。



公開対談の様子

5 防災研修(東日本大震災時における釜石市の対応)を実施しました

平成 29 年 1 月 27 日(金)14 時 30 分から、中央公民館において、防災研修～東日本大震災時における釜石市の対応～を実施しました。

本市職員の災害対応力向上を目的として、東日本大震災被災地における災害発生時の体験と、そこから見えた自治体職員の災害対応における教訓について、大震災当時、岩手県釜石市の防災課長であった佐々木守氏を講師に招き、講演いただきました。

当日は、災害対応に当たった自治体職員から直接話を聞くことが出来、受講者から当時の災害対応や防災教育について、多くの質問が出る等、大変有意義な研修となりました。

なお、この研修は、消防庁が実施する、東日本大震災の被災地で活動された方を語り部として派遣する「災害伝承10年プロジェクト」を活用して実施しました。



防災研修の様子

6 自主防災会の防災マップづくりについて

大規模な災害が発生した場合、消防や警察等がすぐに駆けつけられるとは限らず、自分の命は自分で守る「自助」の意識や、近隣の人々が助け合う「共助」の精神を一人ひとりが持ち、災害に対する正しい知識を身につけ、災害に備えることが大切です。

地域の防災力向上のため、市内の自主防災会において地域独自の防災マップづくりが進められており、平成 29 年 1 月も活動が実施されました。

地域の防災マップは、防災の基礎知識を身につける防災講座、危険箇所等の情報収集を行うまち歩き、印刷されたマップの校正作業等を経て、出来上がります。夏ごろから進められている防災マップづくりも終盤に差し掛かっています。

本市では、さまざまな形で地域独自の防災マップづくりを支援しています。

<1 月の活動内容>

竹谷自主防災会(マップの校正)、潮江自主防災会(まち歩き)、武庫第 2 自主防災会(マップの校正)、塚口西自主防災会(マップの校正)、大庄西自主防災会(マップの校正)



潮江自主防災会のまち歩き後のマップづくりの様子

7 尼崎市防災セミナー(第3回)を開催します

「小さな命をまもる家庭の備え ママ・パパのための防災教室」

本市では今年度、「事業所」、「子ども」、「家庭」と3つテーマを取り上げた防災セミナーを開催しています。

3つめのテーマとなる今回は、就学前児の保護者の皆さまを対象に「小さな命をまもる家庭の備え ママ・パパのための防災教室」をテーマに講演や体験型プログラムを実施します。

皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 2月26日(日)14時～15時30分

場 所 女性センターレピエ

定 員 先着60人

申込期間 1月6日(金)～2月17日(金)

申込方法 電話またはFAXで一般財団法人大阪市コミュニティ協会へ
TEL:06-6125-3311 / FAX:06-6125-3315

料 金 無料

講 師 あんどうりす氏

阪神・淡路大震災被災の経験とアウトドアの豊富な知識を融合させた講演活動を2003年より開始。特に、子どもを持つ親たちから絶大なる支持を得ており、年間100本以上の講演を全国で行っている。

その他 手話通訳・要約筆記が必要な方は、申込の際にお申し出ください。

毎日のカバンを防災仕様
毎日の子育てにも役立つ防災
子育てグッズ=防災グッズ!?

平成28年度第3回尼崎市防災セミナー

小さな命をまもる家庭の備え

ママ・パパのための防災教室

参加無料
(事前申込制)

開催日時 2017年 2/26 日 14:00-15:30

会場 尼崎市女性センター
トレピエ
2F 視聴覚室 (尼崎市南武庫之荘3-36-1)

緊急「武庫之荘」駅から徒歩240m

8 気仙沼市への職員派遣を継続しています

人 数 3名(土木職)

派遣期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

以 上